

証券コード:7472

“百年の信頼を、未来につなげる”

株式会社鳥羽洋行
2023年3月期
中間決算説明会資料

2022年11月10日(木)









- I . 2023年3月期 2 Q決算について
- II . 今後の戦略及び見通し

I . 2023年3月期 2 Q決算について

<決算のポイント>

第2四半期実績と通期見通しのポイント

単位：百万円

| | 2023年3月期 2Q実績 | | 2023年3月期 通期見通し | |
|---------------|---|-----------------------|---|---------------------------|
| 計画（連結売上高） | 15,000 | | 31,000 | |
| 半導体需要 |  | 半導体不足により生産及び設備投資が旺盛 |  | PC向け等は需要減、その他需要は継続見込み |
| 中国（ロックダウン） |  | 生産減、設備投資停滞 |  | 引続きコロナ感染拡大/地政学的リスクあり |
| 自動車関連 |  | 部材不足の影響はあったが、生産は徐々に回復 |  | C A S E / 電気自動車に関わる設備投資増加 |
| ロボット/生産システム |  | 設備投資増、生産増 |  | 自動化設備の需要継続 |
| 実績/見通し（連結売上高） | 15,072 | | 31,000 | |

<連結損益計算書の概要>

(単位：百万円)

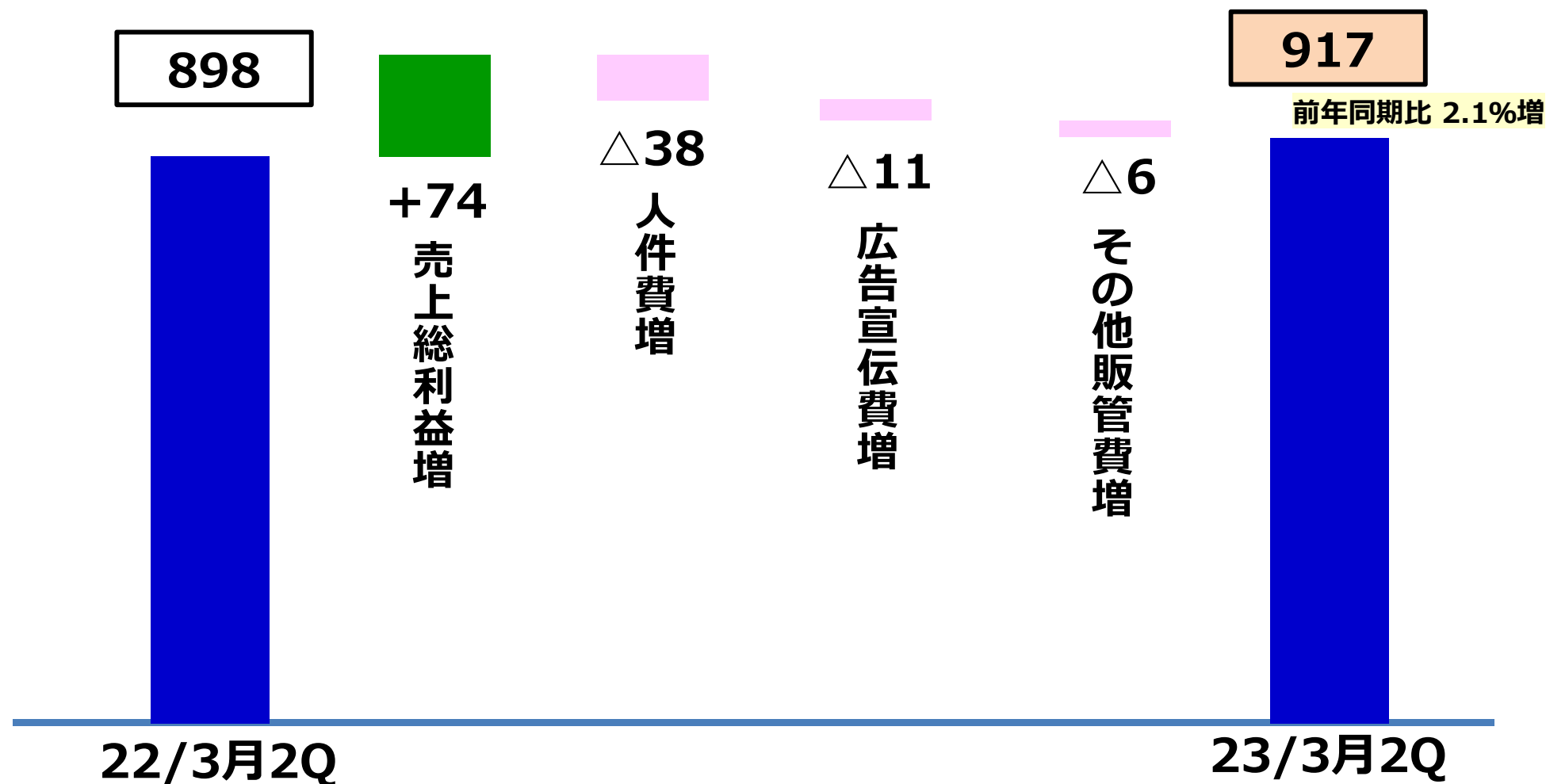
| | 22/3月期 2Q | 23/3月期 2Q | 前期比 (増減率) | 備 考 |
|----------------------|--------------|--------------|--------------|---|
| 売 上 高 | 14,415 | 15,072 | 4.6% | ・半導体製造装置向け国内販売が増加 ・自動車関連向け販売が回復 ・中国のスマホ向け得意先への販売は減少 |
| 営 業 利 益 | 898 | 917 | 2.1% | ・売上総利益は前期比 +3.6% ・販管費は前期比 +4.7% |
| 営 業 利 益 率 | 6.2% | 6.1% | | |
| 経 常 利 益 | 944 | 982 | 4.0% | |
| 経 常 利 益 率 | 6.5% | 6.5% | | |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 660 | 679 | 2.9% | |
| 四半期純利益率 | 4.6% | 4.5% | | |

Point !

- 売上高、純利益ともに、前年同期を上回る
- 半導体製造装置及び電子部品関連向けの販売は好調に推移
- 自動車関連設備向けの販売は徐々に回復

<連結営業利益増減分析>

(単位：百万円)

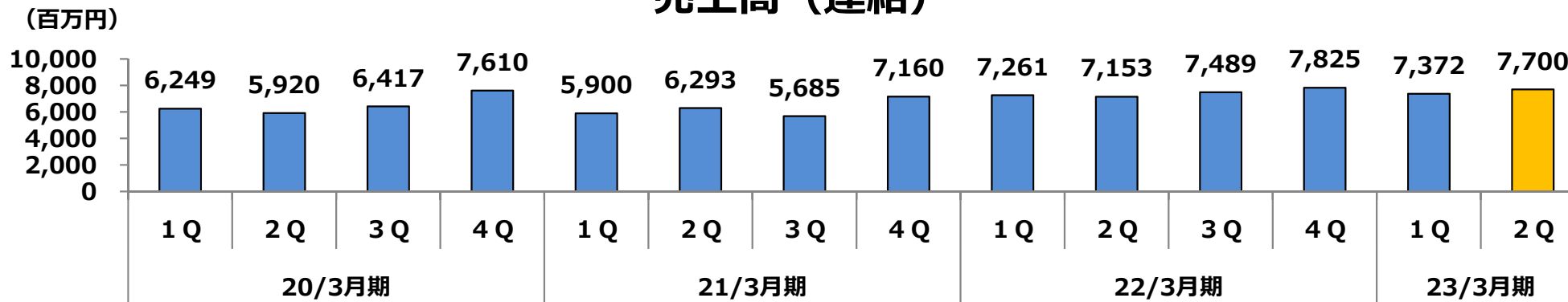


Point !

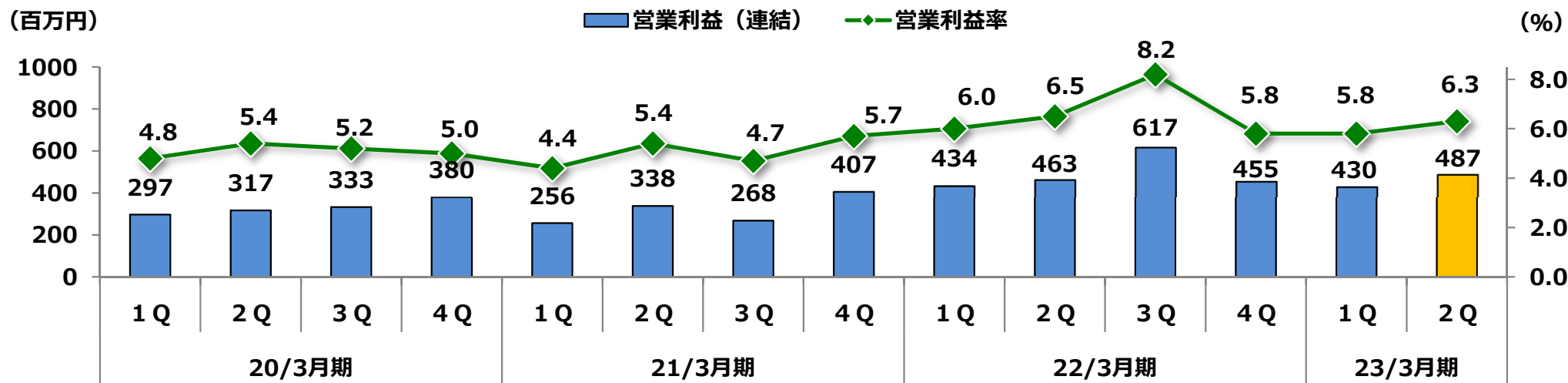
- 売上高増で売上総利益は前期比 74百万円増 (3.6%増)
- 将来に向けての投資
人材投資、展示会出展/営業活動費用等の販売管理費増

<四半期毎の売上高・営業利益（連結）の推移>

売上高（連結）



営業利益/営業利益率（連結）



Point !

- 昨年（2022年3月期）は過去最高売上を更新し、継続して好調に推移
- 営業利益についても、将来を見据えた投資を積極的に実行しつつ、順調に推移

<連結部門別実績>

制御機器



<主な得意先の業種>

デジタル機器/半導体・液晶製造装置
/基盤実装機/自動車・車載部品/
工作機械等

FA機器



<主な得意先の業種>

デジタル機器/自動車・車載部品/
半導体・液晶製造装置/OA機器/医
療機器/食品機器等

産業機器



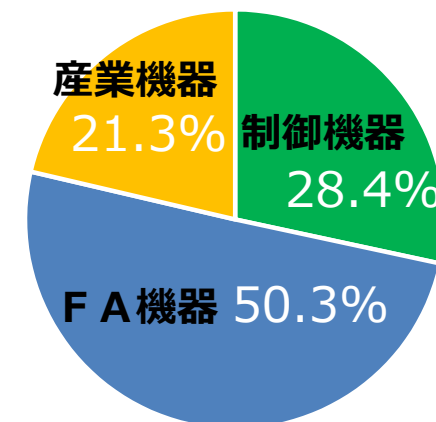
<主な得意先の業種>

デジタル機器/自動車・車載部品/
半導体・液晶製造装置/精密機器等

【連結売上高】

| | |
|---------|-----------|
| 制 御 機 器 | 42億76百万円 |
| F A 機 器 | 75億79百万円 |
| 産 業 機 器 | 32億17百万円 |
| 合 計 | 150億72百万円 |

売上比率

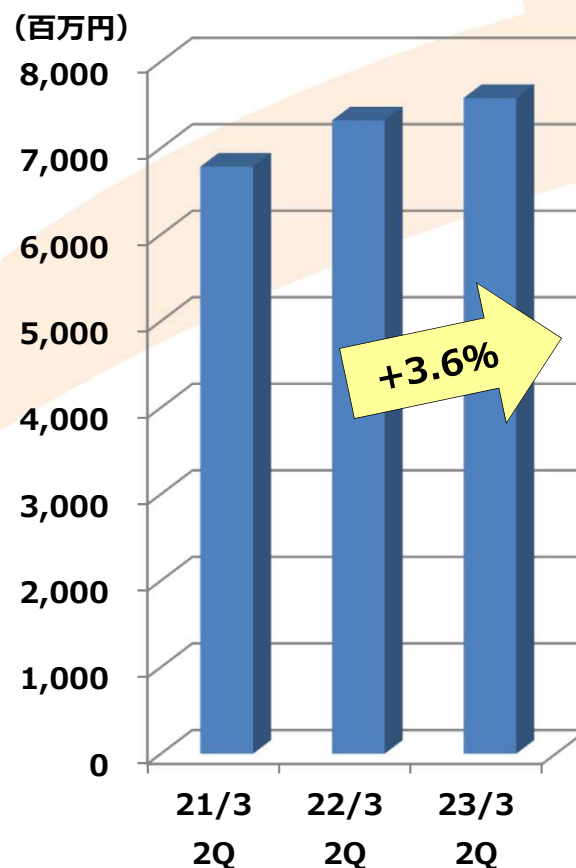


<部門別連結売上高推移>

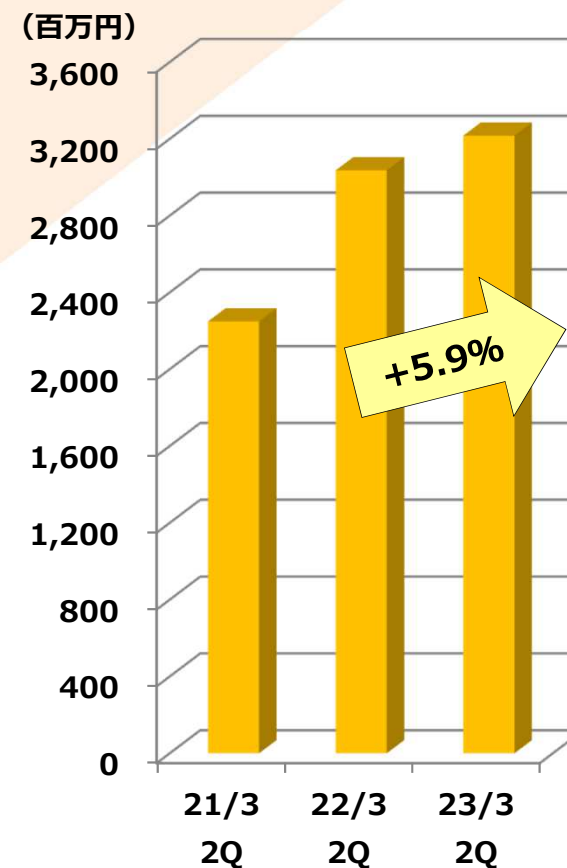
制御機器



F A 機器



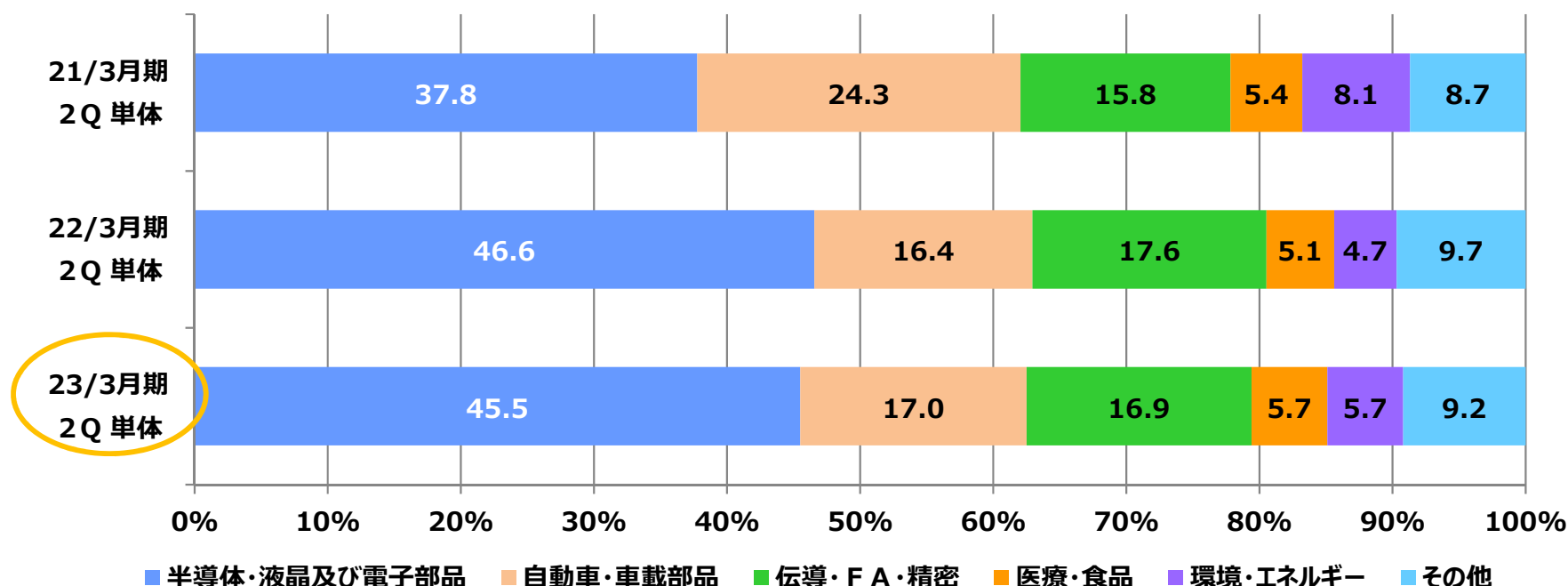
産業機器



Point !

- 【制御機器】設備投資は堅調で、特に、半導体及び半導体製造装置や電子部品関連の得意先からの受注が好調に推移
- 【F A 機器】半導体不足の影響はあるものの、自動車・車載部品関連は回復基調で、産業用ロボット及び実装機関連の販売が好調に推移
- 【産業機器】自動車関連の設備投資増加により、工場設備関連商材の販売が上向き、半導体に関連する得意先への「ろ過フィルター」の販売は、前期を上回り好調に推移

<業種別売上構成比（単体）推移>



Point !

<半導体・液晶及び電子部品>

半導体不足により、半導体製造装置関連の需要は好調に推移。一方で、液晶、スマートフォン、ノートPC市場はコロナの巣ごもり需要の減少を受け、停滞傾向（△1.1 P）

<自動車・車載部品>

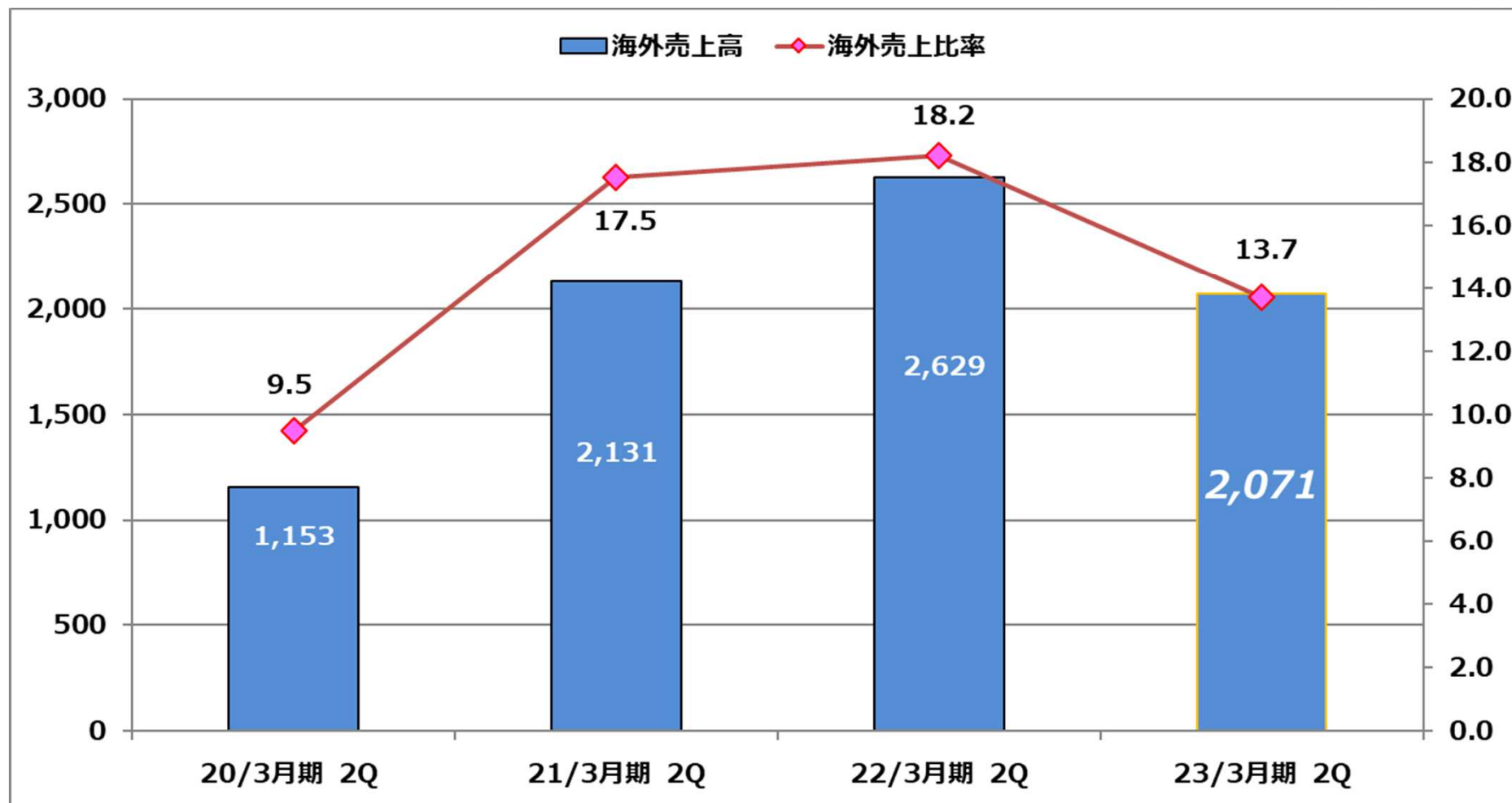
半導体・部品不足の影響は徐々に改善。国内外ともに、C A S E 関連への設備投資が好調であり、今後パワー半導体の需要も増加見込み（+0.6 P）

<伝導・F A・精密>

消費マインド回復により、伝導・FA機器、包装・梱包機器向け等の、各種自動機の需要が増加したが、工作機械向けの販売は若干減少（△0.7 P）

<連結 海外売上高・海外売上比率>

(単位：百万円)



Point !

- 為替 (円安) により、押し上げ効果はあったが、中国のロックダウンの影響により、鳥羽 (上海) 貿易有限公司の販売が低迷

＜連結貸借対照表の概要＞

(単位：百万円)

| | 22/3月末 | 構成比 (%) | 22/9月末 | 構成比 (%) | 備 考 |
|----------------|--------|------------|--------|------------|-----|
| 流動資産 | 21,761 | 75.1 | 22,427 | 77.5 | |
| 現金・預金 | 10,100 | 34.9 | 9,942 | 34.4 | |
| 受取手形・売掛金 ※1 | 11,251 | 38.8 | 11,998 | 41.5 | |
| 商品 | 275 | 1.0 | 376 | 1.3 | |
| 固定資産 | 7,206 | 24.9 | 6,507 | 22.5 | |
| 資産合計 | 28,968 | 100.0 | 28,935 | 100.0 | |
| 流動負債 | 9,237 | 31.9 | 9,038 | 31.2 | |
| 支払手形・買掛金 ※2 | 8,129 | 28.1 | 8,373 | 28.9 | |
| 固定負債 | 450 | 1.6 | 393 | 1.4 | |
| 負債合計 | 9,687 | 33.4 | 9,431 | 32.6 | |
| 純資産合計 | 19,280 | 66.6 | 19,503 | 67.4 | |
| 負債純資産合計 | 28,968 | 100.0 | 28,935 | 100.0 | |

(※1) 電子記録債権を含む

(※2) 電子記録債務を含む

Point !

- 自己資本比率は67.4%
- 構成比に大きな変化はございません

<連結キャッシュ・フロー計算書の概要>

(単位：百万円)

| | 22/3月期 2Q | 23/3月期 2Q | 23/3月期 2Qのキャッシュ・フローの主な内容 |
|------------------|--------------|--------------|--|
| 営業活動によるCF | 37 | △15 | <ul style="list-style-type: none"> 税金等調整前四半期純利益の計上 (+982百万円) 棚卸資産の増加 (△95百万円) 売上債権の増加 (△571百万円) 仕入債務の増加 (+158百万円) 法人税等の支払 (△399百万円) |
| 投資活動によるCF | △223 | △215 | <ul style="list-style-type: none"> 定期預金の払戻 (+500百万円) 定期預金の預入 (△500百万円) 無形固定資産の取得 (△199百万円) |
| 財務活動によるCF | △366 | △511 | <ul style="list-style-type: none"> 配当金の支払 (△511百万円) |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 27 | 84 | |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △525 | △658 | |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 9,673 | 9,600 | |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 9,148 | 8,942 | |

Ⅱ．今後の戦略及び見通し

海外の市場環境

- ▶ 米国利上げによる経済政策により、米国経済を中心に景気減速懸念
- ▶ 欧州経済は、ロシアのウクライナ侵攻の長期化による地政学的リスクあり
- ▶ 世界的な資材の高騰や入手困難による、生産抑制や設備投資縮小の懸念
- ▶ 中国経済は、ゼロコロナ政策継続で、依然としてコロナ感染の再発による、設備投資及び生産縮小の懸念や、台湾問題等の地政学的リスクあり
一方、国策での半導体関連及び電気自動車関連の設備投資は継続的に旺盛と予測

国内の市場環境

- ▶ 米国利上げによる記録的な円安進行や世界的な資材等の物価高騰による生産コストの上昇
- ▶ 自動車生産は徐々に回復傾向、特にCASE関連への設備投資が好調
- ▶ 世界的な半導体不足は品種による偏りが見られ、需要が見込める半導体の設備装置への販売は引き続き好調に推移するものと予想

今後の戦略①

▶ 次世代の柱となるユーザー開拓

- ▶ 5G 関連潜在需要の取り込み
半導体、電子部品、スマートフォン、AI・IoT、基地局、ゲーム等に関連する得意先
- ▶ 自動車・車載部品業界へ積極的に拡販（車載電池、C A S E、A D A S 等）
- ▶ 三品業界など自動化が進んでいない得意先への協働ロボット等、F A 機器の積極販売

▶ 装置・システム案件の更なる拡販

- ▶ 単品販売から製造ラインの自動化まで、システムインテグレーション事業として拡販

▶ 半導体向け「ろ過フィルター」やEビジネスでの売上拡大

- ▶ 注力商品「ろ過フィルター」については、専任担当者を増員し拡販
- ▶ Eビジネスについては、商品の入れ替え及び拡充

▶ 新商材の発掘

- ▶ 各種ロボット、AGV（無人搬送車）、AMR（自律走行搬送ロボット）、各種自動機等
- ▶ 環境負荷低減商品（サステナビリティの取組み、CO₂排出量の削減）

今後の戦略②

▶ 海外拠点との連携強化し売上拡大

- ▶ 中国及びアジア地域に新たな営業拠点開設の検討
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の収束状況を見ながら、積極的な営業活動を再開

▶ 売上拡大施策

- ▶ 新たな国内販売の柱となる営業拠点開設の検討
- ▶ 当社主催『複合展示会』の開催により、新商品アイテムの拡販
- ▶ 大型展示会へ出展し、新規顧客及び商流の獲得

<展示会出展報告>

- 工場の協働ロボット利活用展（会場：東京ビッグサイト）
開催日：2022年7月20日（水）～22日（金） 当社ブース来場者登録数：1,403件
- 関西機械要素技術展（会場：インテックス大阪）
開催日：2022年10月5日（水）～7日（金） 当社ブース来場者登録数：2,058件

当社の取扱い商品や事業内容を紹介し、商談を行いました。今後の注力商品についてもデモ機実演を交えて紹介し、具体的な引き合いを多数いただき、現在、営業部門でお客様へのフォローを行っております。今後も主要な展示会に出展し、売上規模拡大と企業価値の向上を目指します。



各種協働ロボット デモ実演



電動キャスター デモ実演



賑わいを見せる 当社ブースの様子

<2023年3月期の連結業績予想>

(単位：百万円)

| | 22/3月期 (実績) | 23/3月期 (予想) | 前期比 (増減率) |
|---------------------|----------------|----------------|--------------|
| 売上高 | 29,730 | 31,000 | 4.3% |
| 営業利益 | 1,971 | 1,960 | ▲0.6% |
| 営業利益率 | 6.6% | 6.3% | |
| 経常利益 | 2,061 | 2,070 | 0.4% |
| 経常利益率 | 6.9% | 6.7% | |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,424 | 1,440 | 1.1% |
| 当期純利益率 | 4.8% | 4.6% | |

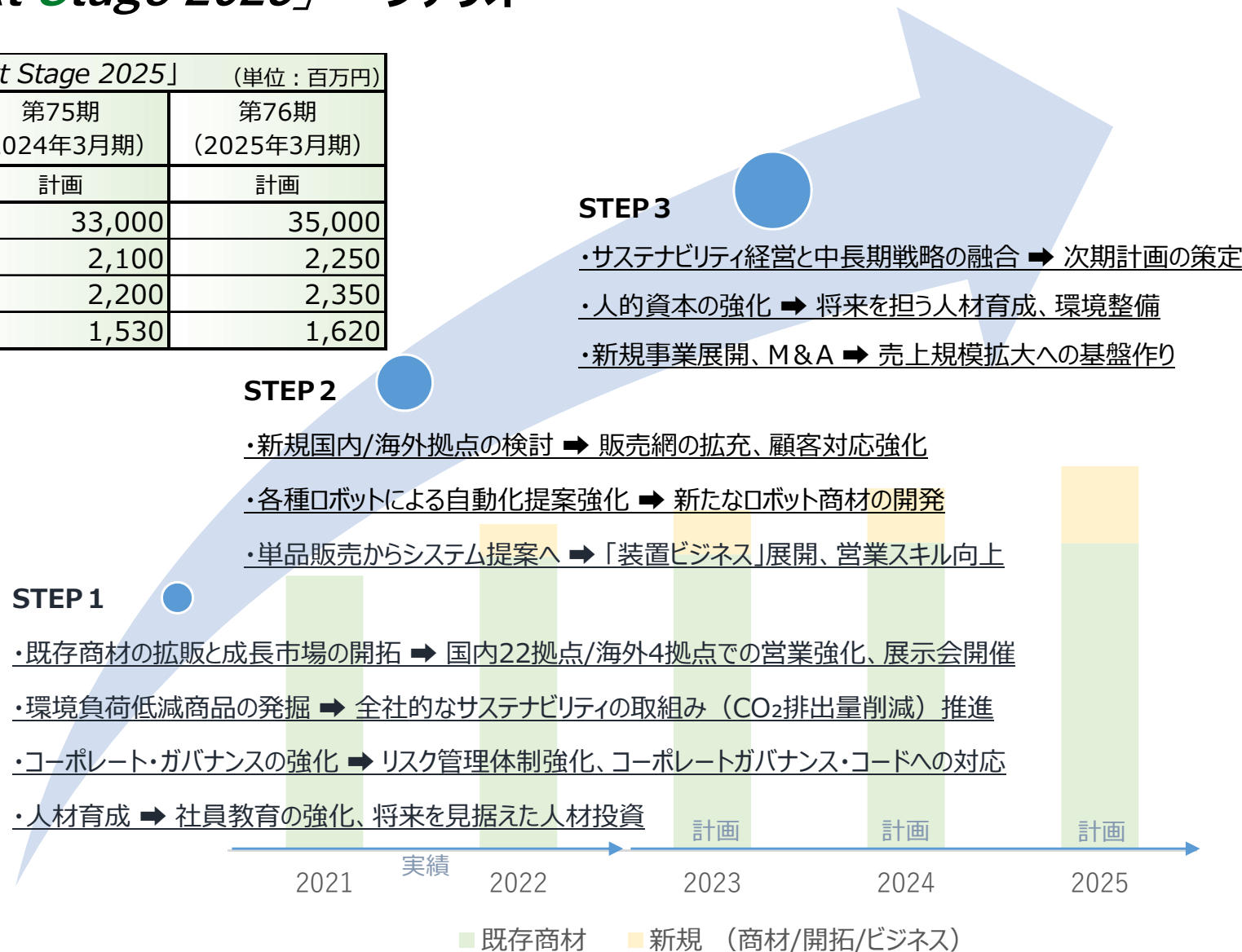
Point !

- 売上高は4.3%、経常利益は0.4%増見込み
- 営業利益の減少は、広告宣伝費等の営業経費及び将来を見据えた人材投資による人件費等、販売管理費の増加による

※ 2023年3月期予想は、2022年5月11日公表

中期経営計画 「Next Stage 2025」 ～シナリオ～

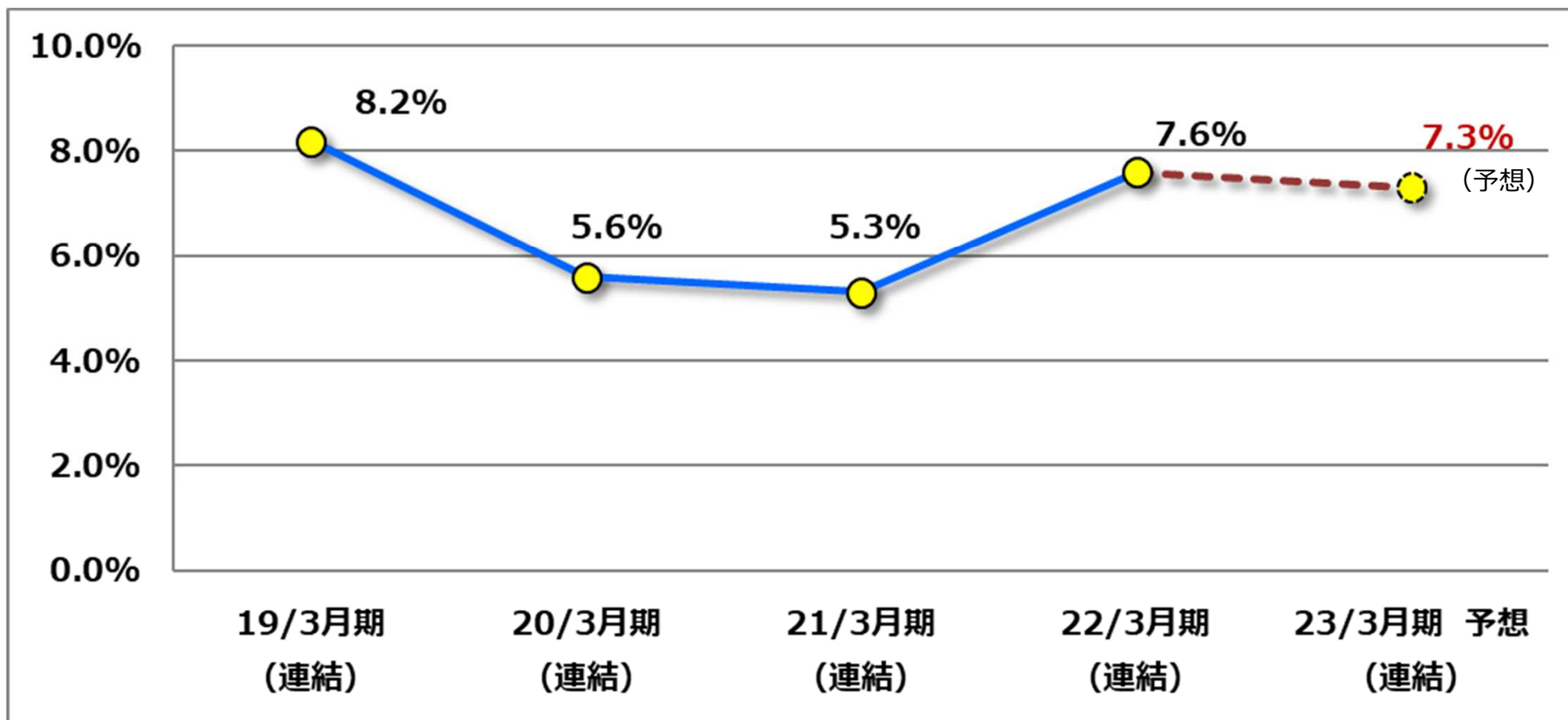
| | 「Next Stage 2025」 (単位：百万円) | | |
|-------|----------------------------|--------------------|--------------------|
| | 第74期 (2023年3月期) | 第75期 (2024年3月期) | 第76期 (2025年3月期) |
| | 計画 | 計画 | 計画 |
| 売上高 | 31,000 | 33,000 | 35,000 |
| 営業利益 | 1,960 | 2,100 | 2,250 |
| 経常利益 | 2,070 | 2,200 | 2,350 |
| 当期純利益 | 1,440 | 1,530 | 1,620 |



Point !

- 2022年3月期は、中期経営計画数値目標を達成
- 2022年8月9日、新たに2023年～2025年の3ヶ年計画をリリース

<ROEの推移>

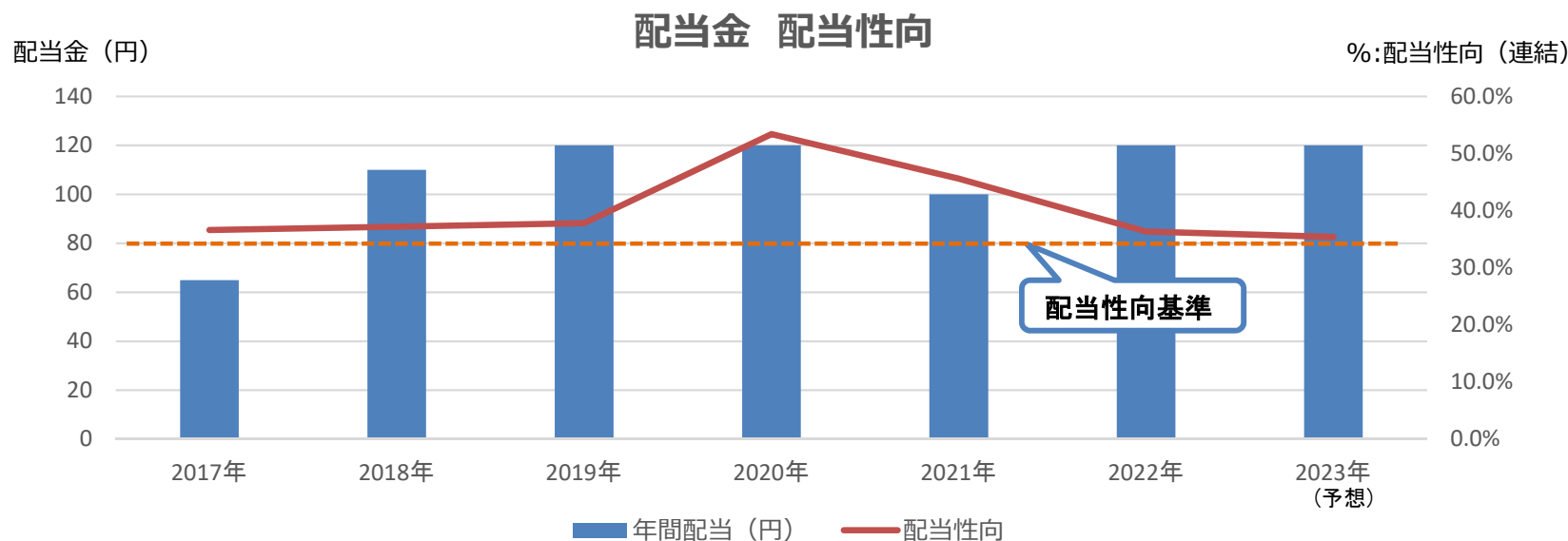


Point !

- 売上利益の拡大を持続しながら、将来を見据えた積極投資を行う
<投資> 人材採用と教育、働きやすい環境作り、CO₂排出量削減商品の開拓と拡販、国内外での新規販売拠点開拓検討

<株主還元について>

- ◆ 配当方針：将来に向けての基盤作りを念頭におき、長期的、安定的な利益還元の実施を目標とする
- ◆ 連結配当性向を35%以上とし、一株当たりの配当金を下限40円とする



| | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年(予想) |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 年間配当 | 65円 | 110円 | 120円 | 120円 | 100円 | 120円 | 120円 |
| 配当性向 | 36.6% | 37.2% | 37.8% | 53.4% | 45.6% | 36.3% | 35.4% |

※2021年3月期の配当金は、記念配当 20円を含む

➤ サステナビリティ委員会の設置

本委員会は、代表取締役社長を委員長とし、各委員がグループ内で連携することにより、社会から信頼される企業として、ガバナンス体制を強化し、社会貢献に取り組み、持続可能な社会の実現に向けて取り組みます。

➤ サステナビリティ 当社の取り組むべき課題

| ESG | マテリアリティ（重要課題） |  SDGs |
|---------------------|---|--|
| 環境 Environment | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 同業他社と差別化できる環境負荷の低い高付加価値商品の発掘 |     |
| 社会 Social | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 技術革新が進む産業界での当社業容の拡大できる新しい販売市場の開拓 ▶ 人への投資による既存人材の成長と将来を担う感性豊かな人材の確保 ▶ 基幹システムの更新等による業務効率と顧客満足度の向上 |          |
| ガバナンス Governance | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 激動する社会情勢に対応するためのコーポレート・ガバナンスの強化 |    |

この資料には、2022年11月9日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

[問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループ I R 担当

住 所：〒112-0005

東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号：03-3944-4031

F A X：03-3944-4091

E メール：kanri-01@toba.co.jp